

取組名称	NO HEMP, NO GOOD LIFE! 『古くて新しい作物を活用した地域と人を元気にする取り組み』			団体設立後の経過年数	1年
応募取組主体名称	一般社団法人九州ヘンプ協会	活動地域	佐賀県など	応募取組の活動年数	1年
取組主体の種類	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会インベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025いのち動的平衡賞				



取組の要旨

ヘンプ（産業用大麻）。それは日本では縄文時代より有用作物として栽培されながらも、様々な制約、社会に広まった誤った認識のため忘れ去られつつある作物です。しかし現在、持続可能な社会を実現するひとつのKEYとしてヘンプが与えるポジティブなインパクトに世界中が注目しています。当協会は、ヘンプの有用性の啓発するとともに、農業における課題の解決、日本の伝統・文化の継承、新たなヘンプ関連産業の創出の実現を目指しています。

実績の要旨

農家、企業、自治体と連携を図り、ヘンプの普及啓発を行ってきました（高栄養食品としての健康増進推進事業、脱炭素に関連したイベント展示）。また、栽培者免許の交付を受け、ヘンプの試験栽培を行なっています。来年度からの本格的な栽培開始に先立ち、多くの支援者、賛同者の協力を得ながら、栽培から加工、流通までの準備をしているところです。

取組評価の要旨	環境への貢献	ヘンプは二酸化炭素を最も吸収する植物のひとつです。また、栽培において農薬が不要かつ土壌改良効果があり、環境に優しい作物です。
	社会・経済への貢献	ヘンプは衣食住、医療、エネルギー、様々な用途に用いることができるため、多くの農家、企業に興味を持っています。
	地域資源の活用	遊休農地、耕作放棄地を活用します。これまでに数棟、数筆の荒れたガラス温室、畑の復旧作業を行いました。
	普及・汎用性	ヘンプは日本中どんな場所でも栽培可能です。佐賀県を中心に九州各地で農家のみなさんとともに取り組みを進めています。
	革新・ユニーク性	ヘンプは化学繊維が普及するまで、主流となる繊維でした。原点回帰という点がユニークであると考えます。
	継続性	農業として継続していけるよう、品種の導入や栽培指導に力を入れる予定です。また、農家、企業、自治体、行政との連携を密にしていきます。

展望の要旨	ヘンプが農作物として定着することで、利用の幅が広がり、地域と人を活性化できると確信しています。また、さらに活動の発信を強化していきたいです。
-------	------------------------------------------------------------------------